



新病院  
記念号

# メディカル ネットワーク

2022 January

No. **31**

<https://twmu-mce.jp>



2022年  
1月5日外来診療開始

## 各診療科のご案内

内科	3	形成外科/美容医療部	9	周産期新生児診療部 ・新生児科	16	放射線科	22
総合診療科	4	心臓血管外科	10	眼科	17	歯科口腔外科	23
外科	5	呼吸器外科	11	耳鼻咽喉科	18	リハビリテーション科	24
小児科	6	皮膚科	12	救命救急センター 救急医療科	19	乳腺診療部	25
整形外科	7	泌尿器科	13	精神科	20	心臓血管診療部	26
脳神経外科	8	骨盤底機能再建診療部	14	麻酔科・ペインクリニック	21	検査科・光学診療部	27
		産婦人科	15				

## 病院長あいさつ

内 湯 安 子



あけましておめでとうございます。

1934年に東京女子医学専門学校尾久病院を開院して87周年の令和4年(2022年)1月1日に、足立区江北の新病院に移転し、改めて新病院名を足立医療センターと改称し、1月5日から外来診療を開始いたします。

当院の大移転のため、令和3年(2021年)12月から止むなく診療制限を行いまして、皆様にはたいへんご不便をおかけいたしました。ご協力くださいまして、誠にありがとうございます。

新病院では、3次救急患者は専用道路から2階の救急デッキ(7台収容可)に上り初療室に着きますと、用時、CT検査、血管造影検査とともにIVRや手術が即座にその場でできるようになりました。また、水害から化学、核、放射性物質まで幅広い災害対応が可能となりました。一方、NICU増床に加え、MFICU6床、LDRも2室準備、そして手術場にはハイブリッド手術室も装備しました。

ブラッシュアップした高度医療と災害に強い新しい病院となって、地域の皆様とともに再び歩んで参りたいと思っております。

先生方におかれましてはこれまで通りのご厚誼をなにとぞよろしくお願い申し上げます。



# 内科



部長  
佐倉 宏  
(さくら ひろし)



副部長  
小川 哲也  
(おがわ てつや)

## 新病院に向けて

地域医療支援の中核を担う診療科の1つとして、当科とかかりつけ医療機関との二人主治医制を軸に、大学病院としての専門性の高い疾患、多臓器疾患、診断困難疾患など地域の医療機関で対応が困難な患者さんを積極的に受け入れたいと思います。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

超急性期・急性期内科疾患、専門知識が必要な内科疾患、診断が困難な内科領域疾患、複数の臓器障害を有する内科疾患

## ◆ 得意分野 ◆

内科は心臓血管診療部、血液浄化部、総合診療科と共に内科チームとして診療しており心臓・血管カテーテル治療、急性血液浄化療法をはじめとした特殊高度医療、診療診断が困難な疾患、合併症を多く持つ患者さんの診療を得意としています。

大学病院として高度な専門分野の診療を行っています。現在、腎臓、循環器、糖尿病、内分泌、消化器、肝臓、血液、神経、膠原病・リウマチでの専門分野で診察を行っています（呼吸器は非常勤医師での対応）。新病院では、お待たせしない完全予約制の診療となっていますので、専門診療科の診察曜日をご確認頂いてご予約を頂ければと思います。また、診断が困難な疾患に関して、総合診療科にて診察をさせていただきます。多様な専門医の在籍により、複数疾患を有する患者さんに対しても効率よく最善の治療が提供できます。また、かかりつけ医療機関の先生方と当院の専門医の二人主治医制により、患者さんのよりきめの細かい診療を心がけていきます。

<https://twmu-mce.jp/mce/naika/>  
<https://twmu-mce.jp/department/internalmedicine/>



# 総合 診療科



部長  
青鹿 佳和  
(あおか よしかず)

## 新病院に向けて

当院においては、2020年4月に誕生した新しい診療科です。開設直後からCOVID-19の流行に伴い、発熱外来にも中心となって対応して参りました。新病院移転後は、外来初療の振り分けやトリアージも行ってまいります。地域の先生方としっかりした連携を組んで、地域医療の発展に取り組んでいきたいと考えております。どうかよろしく願いいたします。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

直近2年間で診断した疾患例:結核性胸膜炎、急性心筋炎、ニューモシスチス肺炎(AIDS)、リウマチ性多発筋痛症、伝染性単核球症、Lambert-Eaton症候群、悪性貧血、MPO-ANCA関連血管炎、Goodpasture症候群、多発性骨髄腫、腹部大動脈周囲炎、頸椎症性脊髄症、成人スティル病、骨盤内脂肪肉腫、亜急性甲状腺炎、など。不明熱や原疾患の特定が難しい様々な症状の患者様を対象としています。

## ◆ 得意分野 ◆

診断が困難な患者様、複数の疾患がありどの科に相談したら良いのか迷う患者様、などをご紹介いただき、適切な診断および初期治療を行って、必要に応じて専門医につなぎます。治療後はまた先生方の外来に戻っていただけるように努めます。

丁寧な診察、わかりやすく丁寧な説明を心がけます。



<https://twmu-mce.jp/mce/naika/>





部長  
塩澤 俊一  
(しおざわ しゅんいち)

## 新病院に向けて

当科は区東北部医療圏の地域医療支援病院として、また新病院では埼玉県南部地域にお住いの患者さんの急性期疾患や良・悪性消化器疾患の診断と診療にもあたります。特に消化器がんに対しては手術治療のみならず、内視鏡治療・血管内治療・外来化学療法も行っています。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

良性・悪性疾患ともに手術・内視鏡的治療を要する消化器領域全般。①食道・胃疾患 ②大腸・肛門疾患 ③肝・胆・膵疾患 ④脾疾患(血液疾患を含む) ⑤ヘルニア全般(鼠径・大腿・腹壁・内ヘルニアなど) ⑥小児外科疾患(本院小児外科とも連携しています)

## ◆ 得意分野 ◆

緊急手術を含め全手術症例の約8割は比較的低侵襲な鏡視下手術を行っており、直腸・S状部がんではロボット支援手術も実施しています。



3D画像による腹腔鏡下胃切除術



腹腔鏡下肝切除術



ロボット支援下直腸/S状結腸切除術



腹腔鏡下結腸切除術

<https://twmu-mce.jp/department/surgery>  
<https://twmu-mce.jp/mce/geka/geka>





部長  
大谷 智子  
(おおたに ともこ)

## 新病院に向けて

当科では、小児の多彩な疾患に対応すべき様々な分野の専門医が協力し診療に取り組んでおり、重篤例では本院PICUとも連携しています。

新病院でも実地医家の先生方と更に連携し、地域の小児科医療に貢献したいと考えています。また、連携強化のために小児科直通の内線番号も準備していく予定ですので、宜しくお願い致します。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

- ◆ 感染症:肺炎・尿路感染症・敗血症など
- ◆ 内分泌・代謝:低身長・肥満・糖尿病・甲状腺疾患
- ◆ アレルギー:気管支喘息・食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・アレルギー児の予防接種など
- ◆ 循環器:心雑音・不整脈・先天性心疾患・川崎病など
- ◆ 神経:てんかん・筋疾患・発達障害・精神発達遅滞など
- ◆ 呼吸器:喉頭軟化症・咽頭軟化症・中枢性無呼吸症候群など
- ◆ 消化器:便秘症・乳糖不耐症・炎症性腸疾患など
- ◆ 腎疾患:腎炎・ネフローゼ症候群・遺尿・学校検尿後検診など

## ◆ 得意分野 ◆

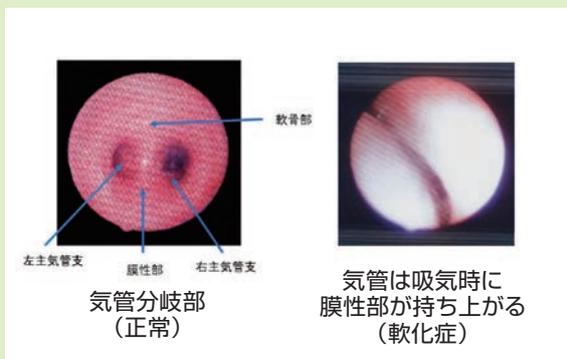
専門外来は、内分泌・代謝、アレルギー、循環器、神経、血液、腎臓、消化器、心身症などの様々な分野を各専門医が担当しています。

また、臨床心理士が3名おり、心理発達検査やカウンセリング(保険外)を行っています。

食物アレルギーの食物負荷試験、低身長の成長ホルモン分泌刺激試験、喉頭・気管軟化症等の喉頭気管支鏡検査も数多く行っています。

外科的疾患も小児外科専門医が週4回診療しています。

### 喉頭気管支ファイバー検査症例の紹介:



難治性気管支喘息で来院



吸気性喘鳴と哺乳障害で来院



# 整形外科



部長  
高木 博  
(たかぎ ひろし)

## 新病院に向けて

整形外科では脊椎から四肢に至るまで幅広い全身の疾患に対応しております。運動器の疾患は患者さんの社会生活に大きく影響します。慢性疾患から骨折・外傷・スポーツ障害まで、患者さんが元の生活に戻れるよう確実な医療を心掛けています。診療、研究、教育といった大学病院の持つべき機能の面でも大きく発展し、すべての方に信頼していただける診療科になるべく努力していきます。

Medical Network  
2022 January

## ◆対象疾患◆

- ◆整形外科一般、人工関節(膝、股関節)、脊椎疾患、スポーツ外傷(膝靭帯・半月・軟骨損傷)、救急整形疾患(外傷、骨折)など幅広く対応しております。また、体外衝撃波疼痛治療装置を用いた疼痛治療も行っています。腫瘍疾患、小児整形外科疾患、重症な関節リウマチに関しましては、現在専門とする医師が不在のため、他施設へご紹介する場合があります。

## ◆得意分野◆

高木 博(教授)	膝関節外科、スポーツ整形外科
山本直也(臨床教授)	脊椎・脊髄外科
田島康介(准教授)	外傷、骨折
高築義仁(医局長)	手の外科

脊椎手術、人工膝関節置換術、人工股関節置換術、四肢骨折手術、膝骨切り手術、膝関節靭帯再建術、その他外傷手術などに対応しております。救命救急センターとも連携し、複数科にまたがる外傷なども迅速に治療を行っています。高齢者や合併症のある方も、他科と協力して積極的に治療しております。今後は地域の開業の先生方との連携を今まで以上に深める努力をし、円滑に治療を行っていきます。



下腿粉碎骨折



橈骨遠位端骨折(術前後)



人工股関節(術前後)

<https://twmu-mce.jp/department/orthopedicsurgery/>  
<https://twmu-mce.jp/mce/seikeigeka/index.html>



# 脳神経外科



部長  
糟谷 英俊  
(かすや ひでとし)

Medical Network  
2022 January

## 新病院に向けて

当科の医師は、「患者さんを家族と思って」診療することを徹底しております。脳神経外科学会専門医9名、脳卒中学会専門医6名、脳卒中の外科学会技術指導医1名、脳神経外傷学会専門医4名、てんかん学会専門医1名、脊髄外科学会専門医1名、脳血管内治療学会専門医3名、脳内視鏡学会専門医2名、認知症学会専門医1名)が在籍しています。安心してお任せください。

## ◆対象疾患◆

脳腫瘍(下垂体腫瘍、髄膜腫、前庭神経シュワン細胞腫、グリオーマなど)、三叉神経痛、顔面けいれん、脳卒中(脳梗塞・一過性脳虚血発作・脳出血・くも膜下出血)、脳血管障害(未破裂脳動脈瘤、頸部頸動脈狭窄症、脳動静脈奇形、もやもや病)、てんかんの外科、脊椎・脊髄疾患、体のしびれ・痛み(視床痛などを含む)、末梢神経疾患、頭部外傷、脊髄損傷、認知症、水頭症、小児脳神経外科疾患(当科では機能温存手術、科学的根拠に基づく診療、疾患の自然歴を考慮した治療を行っています)。

## ◆得意分野◆

特殊外来として以下のものがあります。髄膜腫外来、痛み・しびれ外来、脳動脈瘤外来、頸動脈外来、脳腫瘍外来、三叉神経痛外来、物忘れ外来、脊椎脊髄外科外来(整形外科と合同)、てんかん外来。

当科ではチーム医療を行っています。どのような脳神経疾患でもご相談ください。  
1年365日24時間いつでも対応します。



<http://twmu-mcens.jp/>



# 形成外科



部長  
八巻 隆  
(やまき たかし)

## 新病院に向けて

いつもたくさんのご紹介ありがとうございます。形成外科は患者の機能や生活面改善だけでなく審美的改善を重要視して行っております。従来 of 形成外科に加え、大学病院ならではの各専門医による、足と歩行外来や鼻の形外来、美容外来、レーザー外来など専門外来を設け治療を行っています。最新の最適な治療を提案しますので是非ご紹介ください。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

- ◆ 皮膚皮下腫瘍(良性・悪性)
- ◆ 外傷・熱傷：顔面骨骨折、切断指、褥瘡
- ◆ 再建外科：癌切除後や乳房の再建、指欠損再建、顔面神経再建
- ◆ 美容外科：眼瞼形成、鼻形成、各種レーザー治療、ボトックスなど注入治療
- ◆ 先天奇形：唇裂口蓋裂、多合指(趾)症、赤あざ、青あざ
- ◆ 足 外 科：外反母趾、扁平足、下肢拘縮、リンパ浮腫
- ◆ そ の 他：下肢静脈瘤、爪疾患

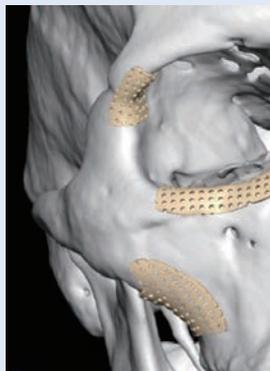
## ◆ 得意分野 ◆

顔面骨骨折：頬骨骨折、眼窩骨折にはCT3D画像をもとの形に再現した“3次元プレート”を用い、受傷前と同じ形態に戻します。

美容外科：多くの美容外科の勤務経験の上で大学病院形成外科ならではの治療を行います。

レーザー治療：小児の保険治療だけでなく美容レーザー治療も行います。

下肢静脈瘤治療：血管内レーザー・高周波・グルーによる治療を行っています。



3次元プレート：CT上で再構築し、強度の高い固定を行います。



鼻の形態は鼻中隔を含め改善いたします。  
気になる症例がございましたら気軽にご紹介ください。



# 心臓血管外科



部長  
上部 一彦  
(うわべ かずひこ)

## 新病院に向けて

85年を越えて地域に密着しつつ高度の医療を提供してきた尾久の地を離れ、2022年1月より江北に移り病院名も足立医療センターに変わります。最新の設備を備えた新病院ですが、一人ひとりの患者様に何が最良の治療かを考えて提供するという根本は変わりません。引き続きよりよい医療を目指して邁進いたします。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

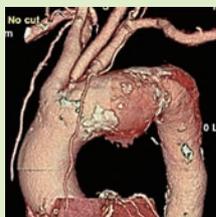
- ① 虚血性心疾患：狭心症、心筋梗塞、左室瘤、心室中隔穿孔、左室破裂
- ② 弁膜症：大動脈弁狭窄症・閉鎖不全症、僧帽弁狭窄症・閉鎖不全症、三尖弁閉鎖不全症、感染性心内膜炎、心房細動
- ③ 胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、解離性大動脈瘤
- ④ 心臓腫瘍、収縮性心膜炎、肺塞栓症、成人先天性心疾患
- ⑤ 末梢血管疾患：閉塞性動脈硬化症、バスキュラーアクセス(透析用内シャント関連)

## ◆ 得意分野 ◆

- ◆ 心拍動下冠動脈バイパス術(オフポンプ)
- ◆ 弁膜症手術(特に弁形成術)
- ◆ 大動脈瘤に対する手術(ステントグラフト治療を含む)
- ◆ 末梢血管病変に対する外科治療及び血管内治療
- ◆ 透析用バスキュラーアクセス手術

### ① 胸部大動脈瘤手術

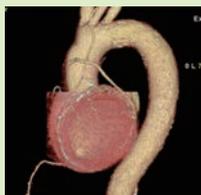
70歳、男性、最大径62mmの遠位弓部瘤に対して弓部全置換術+オープンステントグラフト内挿術



術前



術後



### ② 冠動脈バイパス術

67歳、男性、透析患者、3枝冠動脈バイパス術(LITA-LAD、RGEA-#4AV、SVG-OM)

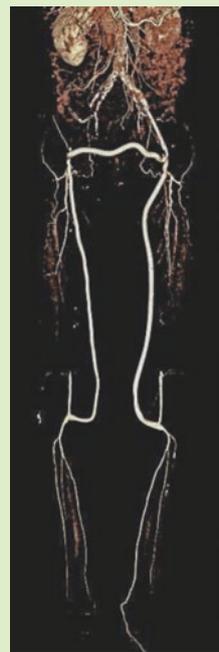


### ③ ステントグラフト

87歳、女性、拡大傾向最大径55mmの下行大動脈瘤に対してTEVAR(ステントグラフト内挿術)

### ④ 下肢血行再建術

72歳、男性、広範囲下肢閉塞性動脈硬化症に対して、左腸骨動脈ステント留置+F-F bypass+両側F-P bypass(ハイブリッド下肢血行再建術)



<https://twmu-mce.jp/department/cvrsurgery/>



# 呼吸器 外科



部長  
前 昌宏  
(まえ まさひろ)

## 新病院に向けて

当科は、埼玉県南部及び城東、城北地域の呼吸器外科基幹施設として呼吸器外科全般の疾患を扱っています。高齢者(80歳以上)、肺気腫、心疾患(虚血性、弁膜症)、人工透析、膠原病、糖尿病などを合併した方が多いことが特徴です。院内他科との連携を保ちながら、個々のかたがたに「いかに質の良い適切な医療サービスを提供できるか」を心がけています。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

原発性肺癌(手術症例、術後再発、進行癌)、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫、胸壁腫瘍、気胸、肺気腫、診断のついていない胸部異常陰影、胸膜炎、肺気腫、肺膿瘍、呼吸不全から在宅酸素管理の方

## ◆ 得意分野 ◆

- ◆ 原発性肺癌に対する診断と治療、ロボット手術の導入
- ◆ 縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍に対する外科治療
- ◆ 気胸、急性膿胸に対する治療
- ◆ 呼吸、循環合併症を抱えた呼吸器外科手術
- ◆ 悪性腫瘍に伴う気管、気管支、上大静脈に対するステント治療
- ◆ 喀血に対する気管支動脈塞栓術

呼吸器疾患の診断から治療まで迅速に、また院内の他科との協力のもと併存疾患、合併症にかかわらず、適切に対応、治療させていただきます。ほぼすべての症例で胸腔鏡手術を行っています。ロボット手術も導入しています。



胸腺腫摘出400g



左肺全摘術



胸部外傷(多発肋骨骨折修復)

<https://twmu-mce.jp/mce/kokyuki/index.html>



# 皮膚科



部長  
田中 勝  
(たなか まさる)

Medical Network  
2022 January

## 新病院に向けて

いつもたくさんのご紹介をありがとうございます。新病院でも、蜂窩織炎や帯状疱疹の当日入院に対応しますので、早めのご紹介をお願いします。爪白癬の疑い例を確実に診断しますので、迷う症例はご紹介ください。ダーモスコピーによるホクロ診断も歓迎します。また、2019年4月から乾癬外来を開始しており最新の治療法に対応します。

## ◆ 対象疾患 ◆

- ◆ 皮膚・皮下病変：内臓疾患に伴う場合、内科・小児科と連携
- ◆ 爪・毛髪病変
- ◆ 粘膜病変：耳鼻科、口腔外科、泌尿器科、外科と連携
- ◆ 当科で対応できない場合：最も適切な専門施設をご紹介

## ◆ 得意分野 ◆

あらゆる皮膚・皮下病変に対応します。特に、皮膚悪性腫瘍のダーモスコピーによる早期診断、表在性および深在性皮膚真菌症の生検・培養検査を含めた正確な診断を心がけています。乾癬の診断と治療(内服や生物学的製剤)も積極的に行っています。

見た目はホクロ(↓)でも、実は



ダーモスコピーでは ↓



基底細胞癌

悪性黒色腫

見た目は爪白癬(↓)でも、実は



有棘細胞癌

乾癬

爪カンジダ症

乾癬の症状・関節炎はQOLを大きく低下します。



外用・内服・光線・生物製剤による治療が必要です。

★どうぞ遠慮なくご紹介ください!

<https://twmu-mce.jp/department/dermatology/>



# 泌尿器科



部長  
近藤 恒徳  
(こんどう つねのり)

## 新病院に向けて

いつも多くの患者様を先生方からご紹介していただき、ありがとうございます。これからも大学病院として最先端の治療を提供すると同時に、難治症例、救急疾患、悪性疾患などの対応など地域の拠点病院として使命を果たしていきたいと考えております。

Medical Network  
2022 January

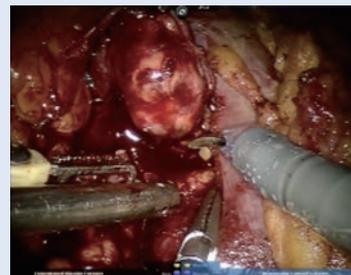
## ◆ 対象疾患 ◆

- ◆ 泌尿器科全般に対応しております。悪性腫瘍、排尿障害、結石、尿路感染症、生体腎移植、腎不全症例のブラッドアクセス

## ◆ 得意分野 ◆

- 1) 泌尿器悪性疾患手術:手術支援ロボット、ダヴィンチを用いた低侵襲手術(前立腺全摘、腎部分切除、膀胱全摘)、下大静脈塞栓症例など高難度の症例に対する手術的治療
- 2) 悪性腫瘍薬物治療:分子標的治療、免疫チェックポイント阻害剤などによる治療
- 3) 末期腎不全患者に対する生体腎移植

2017年に手術支援ロボットDa Vinciを導入して以来、2021年8月までに小径腎癌に対する腎部分切除378例、前立腺全摘は133例になり、2018年4月より保険収載された膀胱全摘も49例となりました。また2020年7月からは腎盂尿管移行部狭窄症に対する腎盂形成術もロボット支援下で開始しております。現在まで合計564例のロボット手術を行ってきております。ロボット腎部分切除では2020年は102例に達し、全国で第2位の症例数となりました。これも多くの患者様をご紹介していただいている先生方のおかげと、感謝申し上げます。前立腺癌の検査である前立腺生検では、最新のMRI同期超音波装置を用いたより正確な生検を行っております。また2018年11月より生体腎移植を開始し、すでに8例行っております。このほか下大静脈塞栓を伴う腎癌など進行例に対する手術、抗癌剤、免疫チェックポイント阻害剤による薬物治療も行っております。またいくつかの新薬の臨床試験も進行中です。また2019年よりホルミウムレーザーを用いた尿管鏡下結石破砕も行いすでに150例を超えております。このように幅広く泌尿器科疾患に対して、より正確に、より安全な治療を行うよう努力しております。これからも患者さんをご紹介いただけましたら幸いです。



ロボット腎部分切除



生体腎移植

<https://twmu-mce.jp/department/urology/>  
<https://twmu-mce.jp/mce/urology/>



# 骨盤底機能再建診療部



部長  
巴 ひかる  
(ともえ ひかる)

## 新病院に向けて

排尿機能障害は生命には関わりませんが生活の質を低下させます。同じ症状でも原因により治療法は異なるため、資格を有する「排尿機能専門医」による診断が必要となるケースがあります。悪性疾患が見つかることもあります。治療に難渋するケースや手術治療が必要と思われるケースはぜひご紹介ください。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

腹圧性尿失禁、過活動膀胱、切迫性尿失禁、骨盤臓器脱(膀胱瘤・子宮脱・直腸瘤・膣断端脱など)、間質性膀胱炎、神経因性膀胱、低活動膀胱、前立腺肥大症、前立腺癌術後の尿失禁など。

## ◆ 得意分野 ◆

腹圧性尿失禁に対する局麻下手術。骨盤臓器脱に対する各種手術療法。難治性過活動膀胱に対するボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法。間質性膀胱炎の診断・治療。原因不明の下部尿路症状。

- 認定施設：ロボット支援下仙骨膣(子宮)固定術・ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法・仙骨神経刺激器植込み術・前立腺癌術後尿失禁に対する人工尿道括約筋植込み術・間質性膀胱炎に対する膀胱水圧拡張術
- 難病指定医：間質性膀胱炎(ハンナ型)



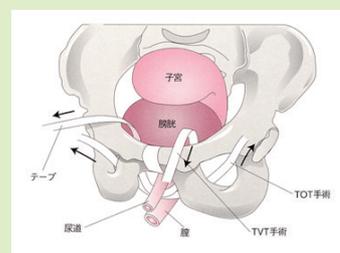
間質性膀胱炎  
ハンナ病変



完全子宮脱+膀胱瘤



ロボット手術



尿失禁手術

- 各種臨床治験も行っており、最新の治療に参加することが可能です。

<https://twmu-mce.jp/department/prsurgery/>





部長  
橋本 和法  
(はしもと かずのり)

## 新病院に向けて

産婦人科・周産期センターは教育病院として、また、地域の基幹病院として、思春期から、出産、更年期まで、女性の一生を任せただけけるよう、誠実に、時代のニーズに対応した息の長い診療を心がけています。周産期診療では、区東北部を中心とした都内全域、埼玉県・神奈川県など近隣の地域までを含めた、周産期母体搬送を受け入れ、正常妊娠・分娩ならびに合併症妊娠・分娩に関して、安全で信頼できる医療を提供することを目標として診療にあたっています。母体搬送は24時間受け入れ可能な体制を取っております。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

妊娠高血圧症候群、胎児発育不全、前置胎盤、多胎妊娠(品胎以上を除く)、糖代謝異常合併妊娠、その他、妊娠偶発合併症(精神疾患は病状により対応出来ない場合があります。)、無痛分娩やセミオープンシステムに対応しています。婦人科悪性腫瘍(子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌)、婦人科良性疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣疾患)、月経異常、不妊症、女性のヘルスケア(更年期障害、思春期、性感染症、骨盤臓器脱)

## ◆ 得意分野 ◆

周産期医療(母体・胎児合併症)、婦人科悪性腫瘍(子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌)、婦人科良性疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣疾患)の診断、治療(特に腹腔鏡やロボット支援下の低侵襲手術)。多嚢胞性卵巣の診断と治療、一般不妊治療(体外受精を除く)、思春期婦人科、更年期障害(ホルモン補充療法、漢方療法)

区東北部(荒川区、足立区、葛飾区)を管轄する地域周産期センターとして、ハイリスク妊婦さんをご紹介いただいております。また、婦人科良性疾患については内視鏡技術認定医による低侵襲手術、悪性疾患については婦人科腫瘍専門医による標準的な手術、化学療法を行い、良好な成績を得ています。



ロボット支援手術

<https://twmu-mce.jp/department/obgyn/>  
<https://twmu-mce.jp/mce/sanfujinka>





部長  
長谷川 久弥  
(はせがわ ひさや)

## 新病院に向けて

新生児科は東京都 区東北部地区における周産期医療の基幹病院として機能するだけでなく、小児呼吸器の専門病院として、全国から診断、治療が困難な難治性呼吸器疾患の患者さんを受け入れています。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

- 1) 新生児一般診療:早産児、低出生体重児、呼吸障害、感染症、血糖電解質異常、出血性疾患、染色体異常、先天奇形 など
- 2) 難治性呼吸器疾患:喉頭軟化症、咽頭軟化症などの上気道疾患、気管・気管支軟化症、気管狭窄、気管分岐異常症などの下気道疾患、新生児慢性肺疾患などの肺疾患

## ◆ 得意分野 ◆

新生児医療全般、新生児・小児呼吸器疾患

\*患者さん一人ひとりの病状に合わせて最適な治療を行います。

## 診療体制

### 1) 病棟

新病院新生児科ではNICU 15床、GCU 18床、計33床の病床を有し、小児科専門医、周産期新生児専門医が中心となり診療に当たっています。対象となる患者さんは出生直後～産院退院前の集中管理を必要とする新生児で、早産児、呼吸障害、低血糖、新生児感染症、先天奇形など多岐にわたります。先天性心疾患、小児外科疾患については近隣専門施設と連携を取りながら診療を行っています。

### 2) 外来

NICU退院後の発育発達を見守る「フォローアップ外来」と、冬期のシナジス接種を行う「シナジス外来」があり、病棟同様、小児科専門医、周産期新生児専門医が診療を担当しています。

### 3) 呼吸器疾患

他施設で管理困難な難治性呼吸器疾患の診断治療を行っており、全国から患者さんをご紹介頂いております。喉頭気管気管支鏡検査、呼吸機能検査、炭酸ガス換気応答試験、呼吸耐力などの各種検査の組み合わせにより管理方針を決定し、ご紹介元施設へ助言させて頂いております。

\* 新生児医療、小児呼吸器疾患の専門施設として、他科との協力の下、高度集中医療を行っています。新生児・小児気管支鏡検査施行件数は国内で最多と思われ、当院でしか行えない特殊治療、特殊検査も多く、全国から患者さんを紹介して頂いております。患者さんのご紹介方法は、当科Webページを参照してください。

<https://twmu-mce.jp/department/nicu/>  
<https://twmu-mce.jp/mce/NICU/index.html>  
<https://twmu-mce.jp/mce/NICU/syukai.html>



# 眼科



部長  
須藤 史子  
(すとう ちかこ)

## 新病院に向けて

日頃より数多くのご紹介を頂きありがとうございます。新病院でも、ご紹介患者さまが「見える喜び」を感じていただけるよう、最新の診療装置を用いた的確な診断と低侵襲手術を行ってまいります。患者さまにもご紹介頂く先生方にも、ご満足頂ける診療を心がけています。

Medical Network  
2022 January

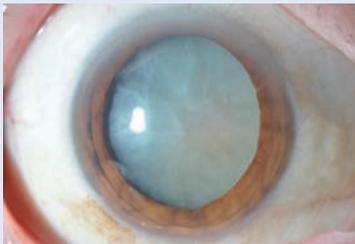
## ◆対象疾患◆

- ◆ 中高年に多い白内障・緑内障・あらゆる眼底疾患の診断と治療
- ◆ 専門的な斜視弱視診療・眼瞼手術・角膜移植術
- ◆ ぶどう膜炎・感染症・視神経炎の精査入院加療

## ◆得意分野◆

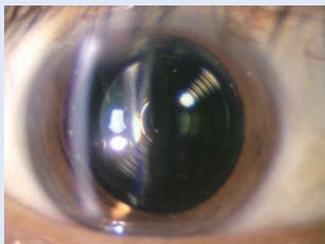
通常症例のほかに、成熟白内障やチン氏帯脆弱の難症例、視機能をより追求した乱視矯正レンズや多焦点眼内レンズも得意とします。さらに緑内障点眼薬を使用している白内障患者には、低侵襲緑内障手術(眼内ドレーン:アイステントインジェクトW)を併施することで、その後の眼圧管理が楽になると好評です。

### ◆成熟白内障:手動弁



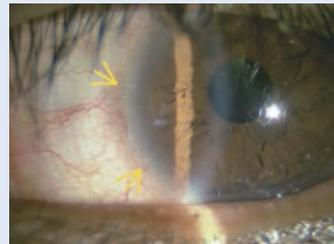
乱視矯正レンズ術後:1.0

### ◆後囊下白内障:0.07

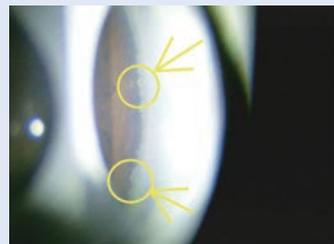


多焦点術後:遠/中/近とも1.2

### ◆白内障手術同時緑内障手術



眼内レンズ  
+ドレーン挿入術後



視力改善+緑内障点眼本数  
減らせる

<https://twmu-mce.jp/department/ophthalmology/>



# 耳鼻 咽喉科



部長  
須納瀬 弘  
(すのせ ひろし)

## 新病院に向けて

耳鼻咽喉科は聴覚、嗅覚、味覚、嚥下など、充実した生活を送るために大切な頭部の感覚と機能を扱っています。特に私たちが得意とする聴覚に関しては国内最高レベルの治療ができるよう日々努力しています。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

耳 : 難聴、中耳炎、真珠腫、耳硬化症、中耳腫瘍、錐体尖病変  
神経耳科: 顔面神経麻痺、めまい  
口腔咽頭: 性感染症、扁桃炎、アデノイド増殖症  
鼻 : 鼻閉、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎

〈治療方針〉 常勤医として耳鼻科専門医5名(脳神経外科1名を含む)、後期研修医1名の充実したスタッフが5つの外来ブースを使って診療に当たっています。手術日は火曜日(咽頭・扁桃)、水曜日(耳)、木曜日(耳)です。

手術室は最大3室を使用し、週に15件前後の手術を行っています。

〈初診予約枠〉 耳、顔面神経麻痺の初診:月曜日・金曜日 扁桃・睡眠時無呼吸の初診:木曜日

## ◆ 得意分野 ◆

国内屈指の耳科手術施設としてあらゆる種類の耳科手術を行っており、顔面神経麻痺でも全国有数の経験を有しています。口腔咽頭の感染症は当科が伝統的に得意とする分野です。

私どもが考える治療の目的は、形態を修正することではなく、患者さんがより良い人生を送る手助けをすることだと考えており、手術は選択肢の1つに過ぎません。それぞれの患者さんの将来を見据え、最善の治療が提供できるよう心掛けています。

慢性中耳炎・真珠腫・耳硬化症・グロムス腫瘍・錐体尖真珠腫など中耳・側頭骨疾患では、本邦トップクラスの手術件数と経験を有しています。私たちは、人と人とを結びつける聴覚に直結する耳科手術に年齢制限はないと考えています。得意とするのは局所麻酔下手術で、真珠腫などの複雑な手術であっても熟練したチームにより短時間で手術を終えることができます。そのため、全身麻酔のリスクが高い高齢の方や、呼吸器・循環器疾患を持つ方も安全に手術を受けていただけます。鼓膜穿孔の閉鎖のみなら日帰り手術に対応しており、入院を要する場合であっても、9割以上の方は手術翌日に退院可能となります。平成29年から高度難聴に対する人工内耳手術も開始しました。チームを率いる須納瀬教授は、平成22年から現在まで12年連続でBest Doctors in Japan TMIに選出され、余田准教授は口腔咽頭の性感染症で日本のオピニオンリーダーの一人です。

<https://twmu-mce.jp/department/ent/>



# 救命救急センター・救急医療科(救急科)



部長  
庄古 知久  
(しょうこ ともひさ)

## 新病院に向けて

新病院では3次救急の受け入れスペースを拡大し、これまで分離していた2次救急のエリアとも一体化しています。またDual Room Hybrid ERシステムを導入し重症患者の超早期診断と超早期治療を実践し、主治医科として初療から集中治療まで一貫して診療を行います。各専門診療科と連携し、ハイレベルな救命医療を目指します。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

重症疾患、多発外傷、手術が必要な急性腹症、ショック・急性腎不全・急性呼吸不全など集中治療を要する病態全て(末期状態除く)

## ◆ 得意分野 ◆

- ◆ 敗血症を伴う急性腹症に対する緊急手術と集中治療
- ◆ 出血性ショックへの対応
- ◆ ECMO(人工心肺装置)による蘇生
- ◆ 重症外傷の診療
- ◆ 新設されたAcute Care Surgeryセンターと連携します

- ・ 都内でTop classの3次救急患者数を応需しています。
- ・ 重症で集中治療を必要とする、お困りの症例がございましたら、ご一報をください。当科スタッフが対応致します。 **救命センター直通専用電話：03-6807-1741 (24h対応)**

- ・ 地域災害拠点中核施設として来たるべく大災害に備え、スタッフはDMAT訓練や災害講習会に参加しています。また区東北部の災害対策拠点として図上訓練や各専門家による講演等を開催しております。下記当科のHPにて随時お知らせいたします。



- ・ 荒川氾濫による病院浸水に備え、人や医療物資運搬のための水陸両用車ARGOを導入しました。



<https://twmu-mce.jp/department/eicu/>





部長  
大坪 天平  
(おおつぼ てんぺい)

## 新病院に向けて

私たちの科は「精神科」を標榜し、「心」と「身体」の両方にまたがる様々な障害に応じています。特に、うつ、不安、発達、認知機能の低下などに関して、地域に生活されている患者さまや診療所の先生方との連携を重視しています。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

さまざまな日常生活(睡眠、食生活、生活リズム)の乱れ、自律神経失調症、引きこもり、うつ病や各種のうつ状態(月経前不快気分障害、男性更年期など)、双極性障害(躁うつ病)、不安障害(パニック症、社交不安症、全般不安症など)、強迫症、ストレス性障害(急性ストレス、外傷後ストレス障害、適応障害)、統合失調症、妄想性障害、病気や身体症状の心理的悩み(身体症状症、病気不安症)、摂食障害、依存症(アルコール依存、他の薬物依存)、認知症(アルツハイマー型、レビー小体型、脳血管型など)、成人の発達障害(自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症)

## ◆ 得意分野 ◆

専門外来として、「月経前不快気分障害」、「男性更年期障害」、「成人期発達障害」、「認知症周辺症状(BPSD)」、「職域のうつ」を開設しています。特に「月経前不快気分障害」と「成人期発達障害」は遠方を含め多くの患者さまに来院いただいております。

新病院精神科では、一般病床の中に5床をもつ予定です。主に、うつ病や不安症で通院中の患者様の休息入院に対応させていただきます。よって、一般病床にて対応困難な、興奮、自傷・他害の可能性、衝動行為、拒否が強い方の入院はお断りすることがあります。特に、統合失調症と双極I型障害の興奮状態、依存症と摂食障害の急性期、児童精神医学の領域については、特別な医療構造が必要となるため対応が難しいことをご了承ください。

<https://twmu-mce.jp/department/psychiatry/>





部長  
小森 万希子  
(こもり まきこ)

## 新病院に向けて

痛みは精神的、肉体的に大きなダメージを与え、生活の質を損ないます。ペインクリニックはその痛みの診断・治療を専門に行う診療部門です。新病院にむけても患者さん個々の身体状況やライフスタイルに合わせて安全に痛みを緩和し、満足度の高い医療を提供できるように努力しております。

Medical Network  
2022 January

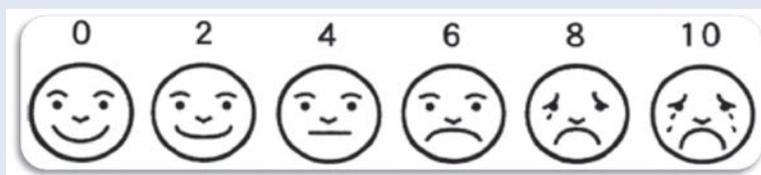
## ◆ 対象疾患 ◆

消炎鎮痛薬ではとれない痛み、帯状疱疹の痛み、基礎疾患のある方の痛み(癌、脳血管障害、腎透析、糖尿病、膠原病など)、顔や喉の複雑な痛み、化学物質過敏症に伴う痛みなど

## ◆ 得意分野 ◆

患者さんのQOLの障害となる様々な痛みに対し、カウンセリング、神経ブロック、高周波熱凝固、薬物療法、理学療法を組み合わせた集学的アプローチにより改善を図ります。

- 神経障害性疼痛は、病悩期間が長くなるほど難治化します。
- Face Scale ↓ が8以上、治療にもかかわらず6以上の患者さんは、ペインクリニック外来(月曜午後、水曜午後)にご紹介ください。



治療に難渋する多種類化学物質過敏症、シックハウス症候群は、併存する疼痛の治療で改善が期待できます。ペインクリニック環境医学外来(毎月第4火曜日午前、奇数月第2土曜日午前)にご相談ください。

<https://twmu-mce.jp/department/anesthesiology/>





部長  
町田 治彦  
(まちだ はるひこ)

## 新病院に向けて

平素よりたくさんのご依頼、ご紹介を頂戴し、誠にありがとうございます。新病院となる足立医療センターでも、われわれ放射線科は大学附属病院としての特色を活かし、地域住民の皆様に信頼される最新かつ質の高い画像診断の実践に努め、病院-診療所連携をさらに推進して参る所存です。

Medical Network  
2022 January

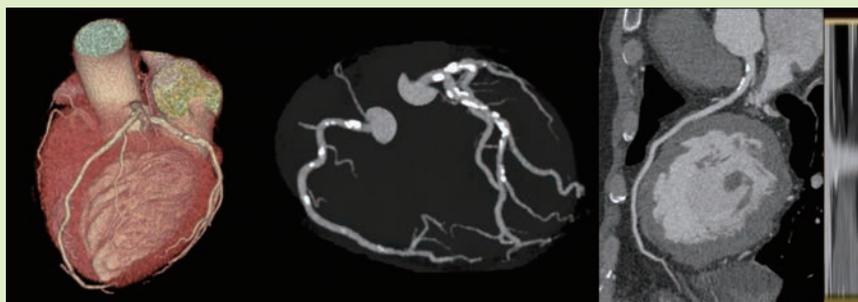
## ◆ 対象疾患 ◆

先生方からのご依頼により各種画像検査(CT、MRI、骨密度測定など)を実施し、その画像データを放射線診断専門医による画像診断報告書とともにお返し致します。CTは256列と64列MDCT装置、MRIは3.0Tおよび1.5T-MRI装置がございます。

## ◆ 得意分野 ◆

循環器画像診断(心臓CT、MRIなど)において専門性の高い画像診断が可能です。CTでは逐次近似再構成や深層学習再構成を用いた合理的な被ばく低減に努めており、解像度の高い撮影も可能です。Dual-energy CTも可能であり、合理的な造影剤低減に努めており、通常のCTを超える様々な解析も可能です。

256列MDCT装置にて1回転で心臓全体を撮影可能です。また、最新の高画質心臓CTを処理するためのアプリケーションソフトウェアも装備されており、質の高い心臓CT検査が実施可能です。



<https://twmu-mce.jp/department/radiology/regional.html>



# 歯科 口腔 外科



部長代行  
金子 裕之  
(かねこ ひろゆき)

## 新病院に向けて

歯科口腔外科では全ての歯科、口腔外科疾患、関連疾患の治療を行っています。いずれの疾患も治療方法の選択肢がある場合は患者様と相談し、可能な限り患者様のご希望に沿うように治療計画を立案するように、医局員一同心がけています。

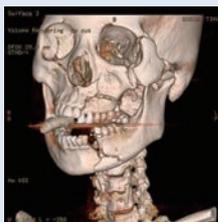
Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

虫歯、欠損補綴、歯周病などの一般的歯科疾患、口腔内外の炎症、軟組織損傷や上下顎骨折を含む外傷、顎口腔領域の良悪性腫瘍、粘膜疾患、インプラント、顎関節症、腫瘍を含む大小唾液腺疾患などの口腔外科疾患

## ◆ 得意分野 ◆

蜂窩織炎など皮膚の切開を要する疾患は可能な限り縫合の必要がない程度の切開で治療しています。悪性腫瘍では顔貌や口腔内の形態、機能温存に最大限努力しています。



<https://twmu-mce.jp/department/oralsurgery/>



# リハビリ テーション 科

Medical Network  
2022 January



部長  
降矢 芳子  
(ふりや よしこ)

## 新病院に向けて

2019年6月1日よりリハビリテーション科が開設され赴任しております。

当科では主に脳卒中や骨折、整形外科手術や外科手術などで入院中の方のリハビリを担当しています。現在当科では通院リハビリテーションはしておりませんが、「サルコペニア外来」を開始致しておりますので、該当患者さんがおられましたらぜひご紹介ください。

## ◆ 対象疾患 ◆

サルコペニア(筋肉減少症)があると寝たきりや転倒・骨折などのリスクがふえます。糖をためる筋肉が減ると血糖値が変動しやすくなります。免疫機能が落ちるといふ報告もあります。予防するためには 体力/筋肉量維持・筋力増進のための運動と栄養が重要です。サルコペニア外来では、サルコペニアのチェックを行い、運動療法のお手伝いをします。

## 木曜日午後の サルコペニア外来のご案内

体力/筋肉量維持・筋力増進して、  
寝たきりや転倒・骨折を予防しましょう

サルコペニア外来では、

1. サルコペニアのチェックを行い、
2. 心臓や肺の検査をして、  
トレーニングに支障がないことを確認して、
3. 運動療法、トレーニングに進みます



DEXA法  
※検査ベッドでの静止時間は約20分程度

担当医師 : リハビリテーション科 教授 降矢芳子

<https://twmu-mce.jp/department/rehabilitation/>



# 乳腺 診療部 (乳腺外科)



部長  
平野 明  
(ひらの あきら)

## 新病院に向けて

当科における乳癌診療はスクリーニング(一次検診)、精密検査(二次検診)、診断、集学的治療、緩和ケアを一貫して行っております。また、ご希望の施設にはご紹介患者さんを極力逆紹介することにより病診連携を密接に行います。

Medical Network  
2022 January

## ◆ 対象疾患 ◆

①乳癌(早期・進行・再発) ②乳腺良性疾患(良性腫瘍、炎症、女性化乳房)

早期乳癌に対しては整容性を重視した乳房温存手術、広範囲に広がりやを有する場合は積極的に乳房再建手術をお勧めしております。また、化学療法が必須であるHER2陽性乳癌やHER2陰性かつホルモン陰性(トリプルネガティブ)乳癌に対しては術前化学療法を行っております。

## ◆ 得意分野 ◆

薬物療法：エビデンスに基づいた最先端の薬物を用いた治療を行っております。

患者さんの気持ちに寄り添い、化学療法の脱毛抑制を目的とした頭部冷却療法を積極的に行っております。

手術：すでに欧米では標準治療となっているセンチネルリンパ節転移陽性例に対する郭清省略を実施しております。より低侵襲で合併症の少ない治療を心掛けております。

乳癌患者さんは乳房にメスを入れることによるボディイメージの喪失に加えて、化学療法による脱毛という二重の傷を負います。近年、欧米で化学療法による脱毛抑制を目的とした頭部冷却療法が盛んに行われるようになり、本邦でも2019年3月に頭部冷却装置が脱毛予防としての医療機器承認を取得しました。

当科では適応外使用として臨床研究法に基づく臨床研究を行い、2017年から40例を超える臨床経験を積んでおります。

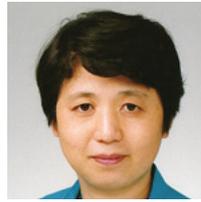


<https://twmu-mce.jp/department/breastsurgery/>  
<https://twmu-mce.jp/mce/geka/nyuusen/nyuusen.html>



# 心臓血管診療部

Medical Network  
2022 January



部長代行

内潟 安子  
(うちがた やすこ)



副部長

重城 健太郎  
(じゅうじょう けんたろう)

## 新病院に向けて

心臓血管診療部は、超急性期から慢性期までのあらゆる循環器疾患に対応し、治療の方針を決定する診療部です。心不全パンデミックといわれる現代の高齢社会では、心不全の原因は多岐に渡り、また心臓以外のさまざまな併存疾患に適切に対応する必要があります。内科、外科、小児科、救命センター、放射線科と連携し、その司令塔としての役割を担っています。

## ◆ 対象疾患 ◆

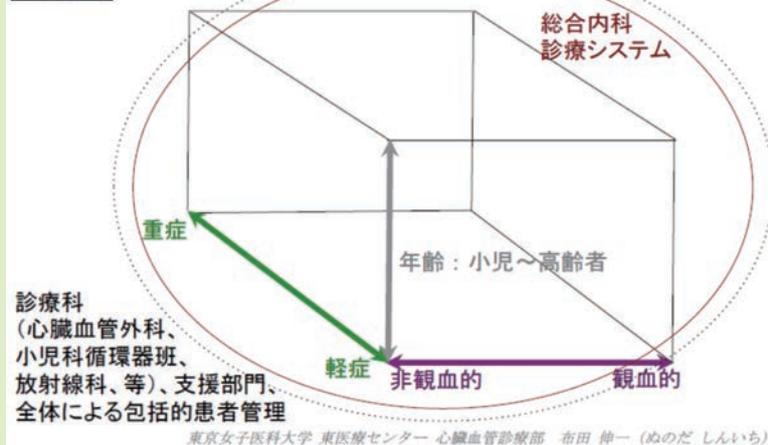
- ◆ 冠動脈疾患: 急性心筋梗塞を含む急性冠症候群および狭心症
- ◆ 心不全、心筋症、心臓弁膜症、心膜心筋炎、下肢(上肢)動脈硬化症
- ◆ 不整脈、高血圧、脂質異常症

## ◆ 得意分野 ◆

心臓血管診療部は、当院の三次救急部との密な連携により、重症の循環器救急疾患に対する質の高い急性期医療を行います。また、高度な治療体系を必要とする重症心不全に対する治療も行っており、心臓弁膜症に対するカテーテル治療などは本院との連携で治療に当たっています。

軽症から重症、急性期から慢性期までの幅広い循環器疾患の患者様に対して、内服加療、カテーテル治療を最新のエビデンスに基づいて提供させていただいております。

### 心臓血管診療部 について



心臓血管外科、放射線科、救命救急科などの診療部門と協力しながら包括的なシステムで対応しております。特に冠動脈、四肢末梢動脈のカテーテル治療、不整脈に対するアブレーションやデバイス植込みについては、スペシャリストが対応いたします。

<https://twmu-mce.jp/department/cardiovascular/>



# 検査科 (内視鏡内科・臨床検査科)



部長  
加藤 博之  
(かとう ひろゆき)

## 新病院に向けて

いつもご紹介ありがとうございます。内視鏡内科(光学診療部)では、積極的に内視鏡診断・治療に取り組んでおります。特に消化管腫瘍に対する内視鏡診断・治療には迅速に対応致します。診断・治療に悩む症例があれば是非ご紹介ください。臨床検査科では、ISO15189を取得し国際基準の精度管理を行い、正確で迅速な患者さん本位の検体検査を目指し、精度管理に取り組んでいます。

Medical Network  
2022 January

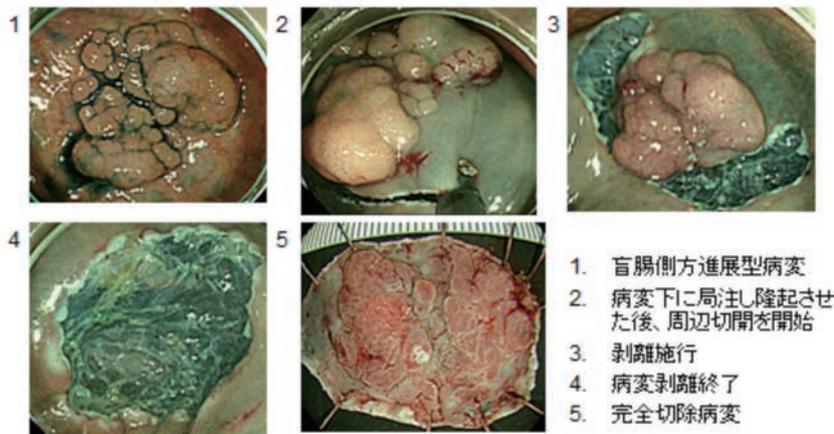
## ◆対象疾患◆

消化器疾患の診断・治療:食道疾患(食道癌、食道静脈瘤、逆流性食道炎、他)  
胃十二指腸疾患(胃癌、胃十二指腸潰瘍、機能性ディスペプシア、他)  
大腸疾患(大腸腺腫、大腸癌、カルチノイド、潰瘍性大腸炎、クローン病、他)

## ◆得意分野◆

食道から大腸まで(十二指腸も含む)の内視鏡診断・治療  
内視鏡専門医4名で基本的にはすべての臓器について取り組んでいます。特に大腸粘膜下層剥離術(大腸ESD)は毎年100例以上の治療を施行し、全国的にみても多くの症例を施行し優れた治療成績を達成しております。食道・胃の早期悪性腫瘍に対する診断・治療も症例数は増加し安全確実に施行しております。

### 大腸ESDの実際 (盲腸の24×18mmの病変)



<https://twmu-mce.jp/department/laboratory/>



# 東京女子医科大学附属足立医療センターへのご案内

## 広域図



近隣鉄道駅からの路線バス運行は、決定後にHP上でお知らせいたします。

## 近隣図

